

第12回 ソーシャルワーカーデー

「ソーシャルワーカーの働き方
～ソーシャルワークの共通基盤～」

日時・
内容等

2024年11月9日（土）

13：30～16：30

（13：00～受付開始）

鹿児島国際大学 710教室（7号館1階）

講演とパネルディスカッション

講演

時間
講師

13：55～14：55

小松尾 京子氏（鹿児島国際大学福祉社会学部准教授）

パネルディスカッション

時間

14：55～16：25

テーマ

「みくろ？まくろ？ ソーシャルワークの可能性」

パネリスト

石場 俊秋氏（鹿児島県社会福祉士会）

新川 昇一郎氏・岡元陽子氏 ピアサポーター（鹿児島県精神保健福祉士協会）

坂ノ上 大地氏（鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会）

コーディネーター 小松尾 京子氏（鹿児島国際大学福祉社会学部准教授）

ソーシャルワーカーデー

社会福祉関係の全国団体（17団体）で構成するソーシャルケアサービス従事者研究協議会では、2009年度より、国民の祝日である「海の日」を、わが国の「ソーシャルワーカーデー（Social Workers Day）」とし、社会福祉士と精神保健福祉士の役割や取り組みを国民に知っていただく日としました。鹿児島県のソーシャルワーカー各団体でも2010年からソーシャルワーカーの活動を知っていただくため毎年講演会等を実施しています。

申込締切：11月5日（木）

※定員になり次第締め切ります

定員：150名

※定員を超えた場合のみご連絡いたします
申込された方は当日直接会場へお越しください

お申込みはQRコードから→



又はURLから

<https://x.gd/CQSVS>



【趣旨】

病気、障がい、高齢、生活困窮、子どもやひとり親家庭など、地域で生活する人がさまざまな理由で生活上の困難をかかえることにより、福祉の支援を必要とする状況になった時、医療機関、入所施設や福祉サービスを提供する事業所、社会福祉協議会や行政など、ソーシャルワーカーが社会福祉の援助を行う「場」は多岐にわたっています。

では、ソーシャルワークの役割は、その所属する「場」である機関によって異なるのでしょうか？

ソーシャルワーカーは、社会の中で生活していく上での困りごとや苦しさ、生きづらさを抱える「人」に関わり、その人にとってのよりよい生活を共に目指す役割を持っています。また、その人が生活する地域から社会全体を視野に入れて援助を行います。その基盤となる価値や知識・技術は、援助を行う「場」に限定されるものではなく、共通しています。今回のソーシャルワーカーデーでは、ソーシャルワーク専門職の共通基盤について講師やパネリストと参加者がともに考えられるような場にしたいと考えています。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

【交通アクセス】

鹿児島国際大学
坂之上キャンパス 710教室
(7号館1階)

〒891-0197
鹿児島市坂之上8-34-1



車でお越しの方は来客用
駐車場をご利用ください。

